

議会だより

9月の
定例会

vol.
216
2023.10.19

- ② 令和4年度決算
総額215億円の成果を認定!
- ⑨ スバリ!! 町政を問う
4議員が質問
- ⑥ こんなが決まりました
9月定例会
- ⑱ 全員協議会報告
ALPS処理水処分に関する政府の対策について確認!!



富岡町議会の
ホームページはこちから



令和4年度
決算

総額215億円の成果を認定!

【一般会計 164億円、特別会計51億円 合計215億円】



【引き続き、適切かつ柔軟な事務処理の継続を】

坂本代表監査委員の審査意見

令和4年度決算は、約215億円の決算規模となっているが、総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。予算編成にあたっては、明確な事業計画に基づく精密な予算見積もりによる予算計上、情勢の変化に伴う更正や追加を適宜行い、安易かつ過大な予算要求は厳に慎むとともに、予算主義の原則を厳守し、適切な予算要求を行い、予算執行にあたっては、慣例や前例に囚われない柔軟な創意工夫により、地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果をあげるよう努めていただきたい。



令和5年9月定例会は9月19日から21日まで3日間の会期で開催し、20日に繰り上げ閉会となりました。諮問案件や令和4年度決算認定、令和5年度補正予算など、16件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。一般質問では4議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営の在り方について伺いました。

【中学校施設維持管理事業】



中学校施設維持管理諸経費
(バリアフリー工事費 他) 1億1,823万円

【さくらモール整備事業】



商業拠点施設整備事業費
(雨漏り等屋根改修工事費 他) 2億8,542万円

【防火防犯パトロール事業】



防火防犯パトロール事業費
(委託料 他) 2億3,500万円

【移住・定住促進事業】



移住・定住促進事業費 1億2,606万円
(お試し住宅運営等委託料 他)

【町営住宅機能回復工事】



R5.4月より供用開始

住宅維持補修費
(新田団地工事費 他) 3億2,585万円

【野菜集出荷施設整備事業】



外観イメージ

被災地域農業復興総合支援事業 1億4,483万円
全体事業費(概算)22億4,000万円中の令和4年度支出分

【営農再開支援事業】



営農再開支援事業 1億9,650万円
(補助金 他)

【夜の森公園整備事業】



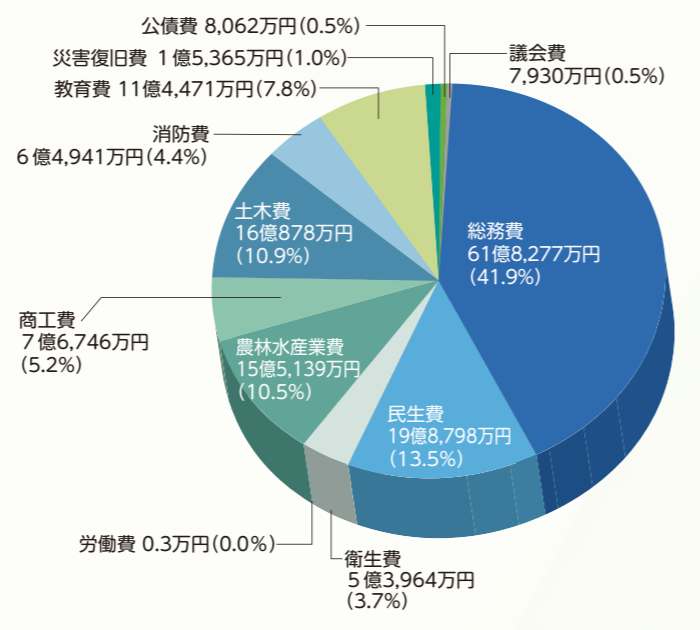
R5.4月より供用開始

公園整備費 2億5,519万円
(工事費 他)

歳出(支出)の主なもの

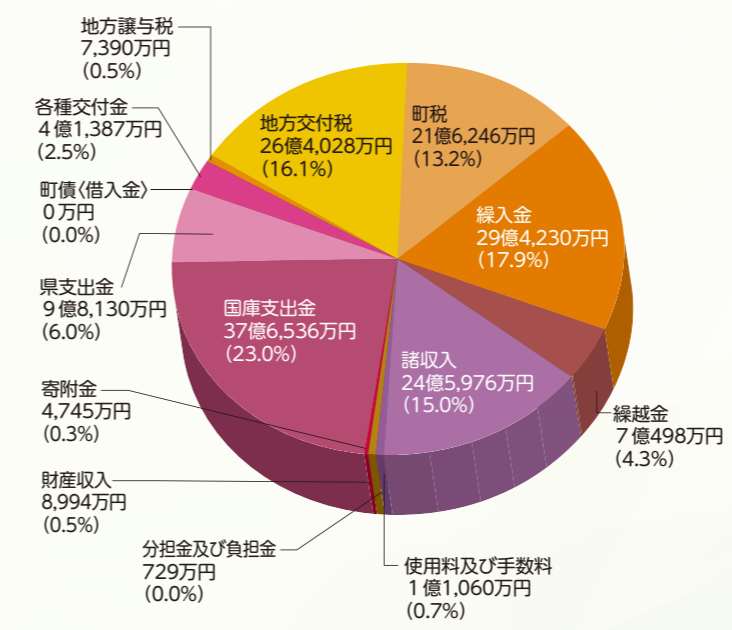
- 総務費 (全般的な管理に要する経費、徴税费や選挙費、基金の積み立てなども含まれる。)
 - 61億8,277万円
- 民生費 (町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費)
 - 19億8,798万円
 - ・ 社会福祉費 16億2,390万円
 - ・ 児童福祉費 2億3,292万円
 - ・ 災害救助費 1億3,116万円
- 衛生費 (町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費)
 - 5億3,964万円
 - ・ 保健衛生費 3億6,598万円
 - ・ 清掃費 1億4,673万円
 - ・ 上水道費 2,693万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費)
 - 15億5,139万円
 - ・ 農業費 12億8,192万円
 - ・ 林業費 2億6,844万円
 - ・ 水産業費 103万円
- 商工費 (商工業の振興に要する経費)
 - 7億6,746万円

歳出(支出) 147億4,571万円



- 土木費 (道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費)
 - 16億878万円
- 消防費 (防犯防火に要する経費)
 - 6億4,941万円
- 教育費 (教育に要する経費)
 - 11億4,471万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費)
 - 8,062万円

歳入(収入) 163億9,949万円



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)
 - 7,390万円
- 各種交付金
 - 4億1,387万円
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)
 - 26億4,028万円

歳入(収入)の主なもの

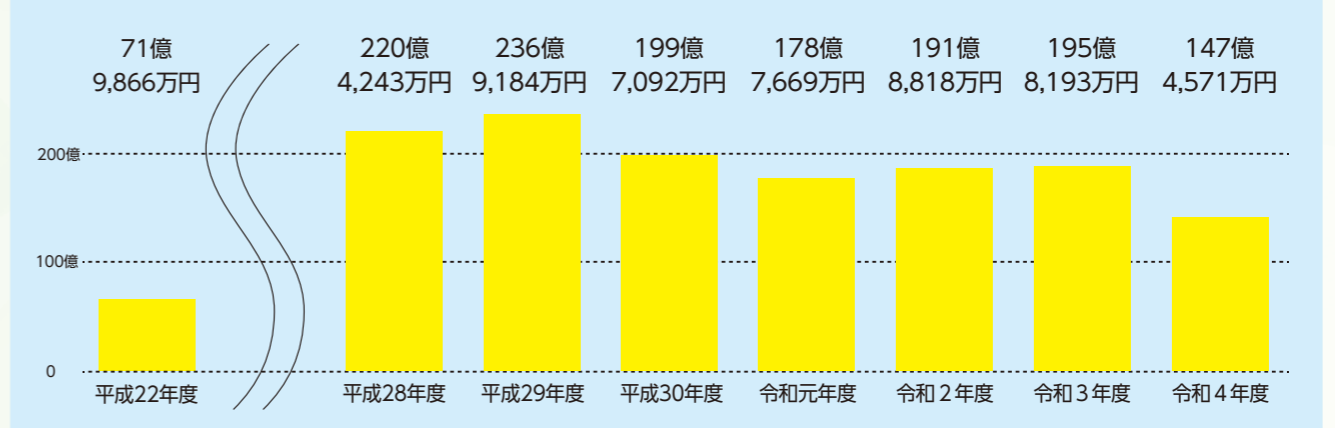
- 町税 (皆さんが町に収めた税金)
 - 21億6,246万円
 - ・ 町民税 8億1,429万円
 - ・ 固定資産税 12億4,853万円
 - ・ 軽自動車税 2,387万円
 - ・ 町たばこ税 7,577万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)
 - 29億4,230万円
 - ・ 特別会計繰入金 1,998万円
 - ・ 基金繰入金 29億2,232万円
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金)
 - 7億498万円
- 諸収入 (雑入など、その他の収入)
 - 24億5,976万円
- 使用料及び手数料 (住民票などの手数料収入)
 - 1億1,060万円
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金)
 - 47億4,666万円
 - ・ 国庫支出金 37億6,536万円
 - ・ 県支出金 9億8,130万円

【令和4年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で認定】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳入	163億9,949万円	50億6,252万円	25億3,696万円	5億9,061万円	1億7,569万円
歳出	147億4,571万円	46億6,597万円	22億4,743万円	5億7,675万円	1億6,593万円
歳入歳出比較	16億5,378万円	3億9,655万円	2億8,953万円	1,386万円	976万円

会計区分	特別会計				合計
	曲田土地区画整理事業	介護保険事業	後期高齢者医療事業	介護サービス事業	
歳入	2,063万円	16億6,714万円	6,265万円	884万円	214億6,201万円
歳出	2,063万円	15億8,487万円	6,209万円	827万円	194億1,168万円
歳入歳出比較	0万円	8,227万円	56万円	57万円	20億5,033万円

【震災前の平成22年度から令和4年度までの一般会計歳出決算の推移】



一般会計 補正予算

事業精査による増額

《6億1,657万円を増額補正》

これまでの各種事務事業の進捗状況を踏まえ、また、今後の事業展開などの精査、調整による増額計上等により6億1,657万円の増額補正を行い、総額149億7,261万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
移住・定住推進事業費	516万円増
財政調整基金積立金	3億3,268万円増
町勢振興基金積立金	200万円増
物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業費(給付金 他)	1,673万円増
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(給付金 他)	155万円増
公費解体事業費(委託料)	1,000万円増
新型インフルエンザ等感染症対策事業費(委託料 他)	1,378万円増
工業団地事業費(委託料 他)	4,257万円増
桜まつり事業	460万円増
その他	1億8,750万円増



令和5年第4回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要	結果
◆補正予算案件	
議案第37号 令和5年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第38号 令和5年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第39号 令和5年度富岡町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第40号 令和5年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第41号 令和5年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決
議案第42号 令和5年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決

※第4回定例会における「諮問案件」は上記に、「令和4年度決算」「一般会計補正予算(第2号)」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。



令和4年度一般会計歳入歳出決算

移住・定住促進事業の内容と移住・定住の効果は。また、全国の成功例と比較した分析はしているか。(安藤止純)

答 企画課長

主に首都圏に対しての移住相談会やお試し住宅の運営、PR広告や動画等の作成、移住ツアーなどを実施しており、移住してくださった方もいらっしゃいます。また、ひとりでも多くの方に移住していただけるよう、全国の成功例との比較分析を行いながら進めたい考えです。

移住・定住の施策について、現在の状況を見て内容や予算を精査すべき。(渡辺三男)

答 企画課長

取り組み等については今後も精査し、ご提案しながら推進したいと思っております。

社会福祉総務費における扶助費の不用額が大きいですが、補正予算で減額はできなかったのか。(遠藤一善)

答 福祉課長

障がい福祉や介護サービスなど、数多くの項目に分かれている予算です。3月補正予算要求の時期との兼ね合いで、必要なサービスの提供ができない事態とならないよう減額せずに残しておいたため、結果的に不用額となってしまったものです。

公園整備について、整備するだけではなく、人が集まり、大人も子どもも留まることができるような仕組みを考えるべき。今後の展開は。(佐藤教宏)

答 都市整備課長

町内には都市公園が5つあり、令和4年度は夜の森公園、令和5年度はつつみ公園と岡内東公園、岡内中央児童公園の整備を予定しています。公園によって遊具の必要性等も考慮しながら計画的に整備していきます。

答 産業振興課長

イベント等で、より多くの方に来ていただけるよう、整備された夜の森公園を中心に企画していきたい考えです。

答 企画課長

夜の森地区のにぎわい創出のため、核となる夜の森公園とつつみ公園を一体的に考え、人でにぎわう町づくりに繋がります。

町内の防犯カメラリースの利用方法や情報共有の状況は。(高野匠美)

答 生活環境課長

防犯カメラは警察等から捜査協力依頼があった際に内容を確認し、情報提供を行っています。また、防犯カメラとは別に、消防団や民間の事業者によって行っているパトロールにおいて異常が確認された場合は、そのつど連絡をもらい、関係各課や機関と情報共有をしています。

スバリ! 町政を問う



4 議員が質問

9月定例会の一般質問に4議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 安藤 正純 議員10

- 町政懇談会での町長発言の根拠は
- 感染症流行の状況把握は



2 佐藤 啓憲 議員11

- マイナンバーカードの取り組み状況は
- 遊休農地・耕作放棄の対策は



3 高野 匠美 議員12

- 町民の生活交通確保を
- 見守り訪問の内容精査を



4 渡辺 正道 議員13

- 町長の考える、町づくりの進捗は
- 新たな地域産業の在り方を見据えて、的確な方針を出すことが必要



山本 育男 町長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

※山本町長の一般町政報告はこちらから

決算認定に係る現地視察

現状を確認!!



新田団地、夜の森公園を視察

令和5年9月20日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。

調査実施箇所は、新田団地および夜の森公園です。

議員からは、新田団地において改修箇所についての規模や住環境に関する整備方針等、夜の森公園において舗装に関することや子どもの見守りに関する設備、防災関連等などの質問が出されました。

新田団地 (町営住宅機能回復工事)

- 工事費
約3億879万円
- 工事の概要
【外部】
屋根、屋上、外壁、受水槽
⇒高圧洗浄、塗装更新 等
【内部】
床、壁、天井、台所、洗面・トイレ、浴室、照明器具
⇒各種張替、設備更新 等



夜の森公園 (夜の森公園復旧工事)

- 工事費
約2億1,560万円
- 工事の概要
複合遊具、タワーネット、かまどベンチ、防災あずまや※ 等
※平常時はあずまやとして使用し災害時には柱の中からカーテン状のテントシートで囲うことにより一時避難場所や災害対策本部として使用が可能なもの





佐藤 啓憲 議員

問 マイナンバーカードの取り組み状況は

答 普及を促進し更なる利便性向上に努めます

答 町長 富岡町のコンビニエンスストア証明発行システムでは、個人情報流出を

問 このところ、各地においてマイナンバーカードに関するトラブルが発生し、個人情報の流出や健康保険証や通帳の紐付け誤登録のトラブルが発生しているが町の状況は。

答 町長 富岡町におきましては、マイナンバーカードの普及促進のため県内外における出張受付窓口や両支所を含めた休日受付窓口の開設などによりカード取得率は82・9%の普及率となっております。

問 全国的にマイナンバーカードの普及が進んでいるが、富岡町のこれまでの取り組みを伺いたい。

問 町政懇談会での町長発言の根拠は

答 基本計画の約半分の金額で

問 リフレ富岡跡地の利活用計画における温浴施設について、昨年11月26日の町政懇談会において町長から、規模は縮小する方向、風呂は10名程度入れる広さ、また直売所を設けて10億円程度との発言があったが、根拠は。

答 町長 リフレ富岡建設当時の30億円や、前回基本計画に挙げた22億円、それらの数字から比較すると約半分の金額で建てることのできればいいとの考えで発言しました。分棟かまとめて一つの建物がいいのか、コスト的な比較を今後していきます。今のところ現実的な話にはなっていません。

問 町が行った温泉井戸の調査結果によると、



安藤 正純 議員

問 掘削当初と比較して湯温度が46・5度から33・8度へ10度以上も下がっていると報告されているが、沸かず経費はどの様に算定されているのか。

答 産業振興課長 既存井戸はまだ復旧していませんが、管に亀裂等があり地下水が入っているのではと憶測されています。復旧するとどの様な形で温度が上がるかは未調査です。燃料高騰・レジオネラ菌対策・消毒関係を考えていますが、まだシミュレーションをしていないので、後日精査したい考えです。

問 施設の利用者、つまり商圏の範囲をどの位に考えているのか。

答 産業振興課長 商圏は富岡町民が元気になるのであればというコンセプトの基、町全体と考えています。温浴については一番低い入り込み数を20人としてシミュレーションしていきたいと考えます。

問 町税収入が豊かになつてからでも

答 夜の森地区にシンボリックなものを

問 将来において集客も上がらず、ランニングコストのみならず施設の修繕・空調設備や汲み上げ井戸の老朽化も進み、また、度重なる地震により不具合が発生することで多額の財政負担も想定される。温浴施設は町税収入が豊かになつてからでも良いのではないかと思うが。

答 町長 夜の森地区においてにぎわいづくりのため買い物環境を整え、娯楽・温浴関係等シンボリックなものにより集客・帰還移住促進を図ることを目的として、こういった施設を造りたい考えです。

答 総務課長 維持管理費や修繕費による財政負担が危惧されますが、住民福祉の向上に必要な施設を建設することについてはやぶさかではなく、その際には後

年度の維持管理等を考慮した施設としたいものです。

答 企画課長 夜の森公園・つつみ公園・夜の森駅東西自由通路等を使い周遊ができ、優良な住宅地であった夜の森地区の環境に触れて少しでも興味を持ってもらうため、まずは町に来てもらう施策を練りたい考えです。

問 町はDB方式で検討を進めているとあるが、維持管理・施設運営を町が行うべきではないと思うが。

答 町長 温浴施設経営を手掛ける事業者等から「施設の維持管理や運営に長けている事業者の意見を参考にしながら設計に着手した方がよい」との助言をいただいております。先の健康増進施設整備検討委員会で議論された設計・維持管理・運営一括方式も再度検討すべきと考えます。

問 感染症流行の状況把握は

答 油断せず注視します

問 新型コロナウイルス感染症の状況を示すデータは、全数把握から定点把握に変わったが、町は流行の度合いをどの様に感じ取っているのか。

答 町長 県内において本年8月28日の週は一医療機関あたりの報告数が約27・6人

になっており、昨年の第7波や第8波のピーク時と比較して約6割に達していると思われまます。特に本町を含む相模地区においては、約39・3人となっており同ピーク時に至っているものと懸念しています。

問 遊休農地・耕作放棄の対策は

答 営農再開に向けた支援を強化

問 「カントリーエレベーター」が稼働し、来春には「野菜集出荷施設」が完成予定で設備面は充実してくる一方、震災から12年が経過し、遊休農地や耕作放棄が課題になっている。これまでの町内の営農再開状況について伺いたい。

答 町長 基幹産業である農業の復興に向け、避難指示解除後の3年間においては、農地の保全や地力回復に取り組みむなどの営農再開

の基盤を構築することとし、その後においては意欲的に農業を営む地元農家や農業法人等を中心に営農再開を進めています。町内の営農再開状況につきましては、避難指示が解除された区域全体の36・3%となっております。

問 除染後3年以上が経過し、その後いろいろな理由から「地権者個人では耕作や農地管理ができないのでどうするか」という声を聞く。については町の今後の取り組み方針を伺いたい。

答 産業振興課長 田んぼからキャベツ畑に変更した場所があり、水はけが悪く被害を受けました。営農をチャレンジしている場所については、基盤整備や水路整備、環境整備に努めます。



町内のタマネギ畑





渡辺 正道 議員

問 町長の考える、町づくりの進捗は

答 着実に復興創生の歩みを進めています

問 夜の森公園の整備が終了したが、夜の森公園は今後の発展に寄与するような施設として

答 夜の森地区においては、地域振興の拠点としてリフレ富岡跡地への複合的な施設整備の検討に着手し、桜並木の発展的な保全と観光資源のPR、地域資源を活かしたにぎわいの創出を目指して取り組んでいます。

問 町長就任以来2年が経過したが、町長の考える、町づくりの進捗は。特に、夜の森地区の展開と今後について伺いたい。

答 町長 特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されるなど、町内は着実に復興・創生の歩みを進めています。



広い芝生の広場

問 リフレ富岡跡地、もしくは夜の森公園に近接した場所にイベント開催場所・地域交流

答 町長 夜の森地区のにぎわいを取り戻していくこと、人が人を呼び込んでくるであろう施策を考えていくことだと思っています。

問 特に夜の森地区の最優先課題は何と考えるか。

答 町長 公園もこれからの一つの資源として、将来的にこの住環境の整備の中において大変重要だと考えています。

問 デマンド交通の当初の目的は高齢者や交通弱者の移動手段の確保

答 高野副町長 教育委員会が対応するのが義務教育であることから、高校生への支援や補助については難しく、慎重に考えていかなければならない問題であると思っています。しかしながら、保護者の心配もこのもつともであり、通学路での街路灯の整備など、通学の行き帰りにご不安のない環境を整えていくことも大事であると考えています。

問 町内の子どもが増加傾向にあることを見ても、今後、自宅と駅の往復で利用したいという高校生やその保護者の声も増えてくると思われるが、町として将来的な問題として考えているか。

答 産業振興課長 利用条件として、事前登録が必要となります。また、富岡町民が対象となりますので高校生の利用も可能です。

問 震災前、当町は原子力発電という地域経済が核となり行政運営をされてきた。事故後、福島イノベーション・コースト構想や再生可能エネルギー関連産業などの新産業が集約して、事故前の産業構造からの変革期がまさに今来ている。今までの以上に注力していくべきである。廃炉産業、原発産業にばかり依存するのではなく、新たな産業構造、地域産業の在り方を見据えて、当町特有の事情、多様な利害関係者との関係性を見極めて、的確な方針を出すことが必要だと考えるが。

問 新たな地域産業の在り方を見据えて、的確な方針を出すことが必要

答 これからが勝負どころであると考える

問 核となるような野外ステージの整備を検討してみたい。

答 町長 整備に向けては、その時期と将来的な活用や整備場所等を見据えて検討していきます。

問 国のエネルギー政策について直接コメントする立場にはありませんが、福島第二原子力発電所の立地町として今後も注視します。その上で、まずは福島第一・第二の廃炉

答 町長 国のエネルギー政策について直接コメントする立場にはありませんが、福島第二原子力発電所の立地町として今後も注視します。その上で、まずは福島第一・第二の廃炉

問 原発回帰に大きく舵を切った国の原子力政策に対して町長の考えを伺いたい。

答 町長 現在、本当に変革期かどうかの見極めはできていませんが、福島イノベーション・コースト構想やエフレイ関係が今後中心になるだろうと思っており、これからの勝負どころであると考えています。

問 太陽光・風力・地熱・バイオマス等の再生可能エネルギーに対する考えと、本町における今後の展開について伺いたい。

答 町長 再生可能エネルギーの活用にあたっては大きなメリットが期待される一方で、風力発電における高額な導入費用や発電効率。地熱発電における開発調査に係る期間やコスト。バイオマス発電においては安定した原料調達など、様々な面で課題も多く、環境に与える影響や町内の景観への配慮等を含め、更なる検討も必要であると考えます。

問 町民の生活交通確保を

答 関係機関と協議を進めていきます

問 デマンド交通の利用にあたって条件はあるか。また、高校生は利用可能か。

答 町長 住民の日常生活の足として路線バス等の確保は欠かせないと考えており、今年度において地域公共交通を維持、確保するための富岡町地域公共交通維持確保計画の策定に向けて、公共交通事業者や道路管理者、公安委員会等の関係機関と共に協議を進めていきます。

問 町内で自立した安定的な日常生活が維持できるよう、生活交通の確保・支援は現状どおり続けていくのか。見直しを行い、整備されていくのか。



高野 匠美 議員

問 デマンド交通の当初の目的は高齢者や交通弱者の移動手段の確保

答 高野副町長 教育委員会が対応するのが義務教育であることから、高校生への支援や補助については難しく、慎重に考えていかなければならない問題であると思っています。しかしながら、保護者の心配もこのもつともであり、通学路での街路灯の整備など、通学の行き帰りにご不安のない環境を整えていくことも大事であると考えています。

問 町内の子どもが増加傾向にあることを見ても、今後、自宅と駅の往復で利用したいという高校生やその保護者の声も増えてくると思われるが、町として将来的な問題として考えているか。

答 産業振興課長 利用条件として、事前登録が必要となります。また、富岡町民が対象となりますので高校生の利用も可能です。

問 今後、町内路線バスの再編やデマンド交通の見直しについて幅広く検討を行う必要があると考える。町民との協働も含め、全国の先行事例を参考にしながら、富岡町に適した形を研究し、デマンド交通に固執せず公共交通や移動支援の在り方について全庁をあげて検討してもらいたい。

答 産業振興課長 様々な視点を持ち、共通して活用していく移動手段について、しっかりと検討していきます。

問 継続的な交付金充当に向け、実効性のある計画をつくり、活性化のため検討を進めます。

答 産業振興課長 保であったが、依然として交通手段に困っている町民がいる。現在は全額交付金で運行しているが、交付金が終了すると町の財政負担が増大することから、今から地域公共交通の活性化に向けた施策を講ずるべきと考えるが。

問 健康づくり課長 訪問の必要性や他の支援方法を検討する必要があります。

答 健康づくり課長 訪問の必要性や他の支援方法を検討する必要があります。

問 現在、見守り訪問は町関係から民間事業者まで様々行われているが、内容の精査により財源の確保にもつながることから、訪問の在り方や周知について再確認を。

答 福祉課長 訪問を受ける住民の声に耳を傾けつつ、見落される方がいないよう、精査しながらも手厚くは続けたい考えです。

問 一人住まいの方や高齢の方々に対し、急な体調不良など、不測の事態があった際に自分を守るための方法を、町も考えてもらいたい。

答 福祉課長 訪問の在り方や関わり方などを積極的にを行い、困った場合の連絡先などの周知も今後徹底して行っていききたいと思えます。

問 一人住まいの方や高齢の方々に対し、急な体調不良など、不測の事態があった際に自分を守るための方法を、町も考えてもらいたい。

答 町長 各町村の事情等を含め、県ともしっかりと連携しながら協議していく必要がある。今後の課題と考えます。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 議事事務局
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 出納室
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 【所管課】



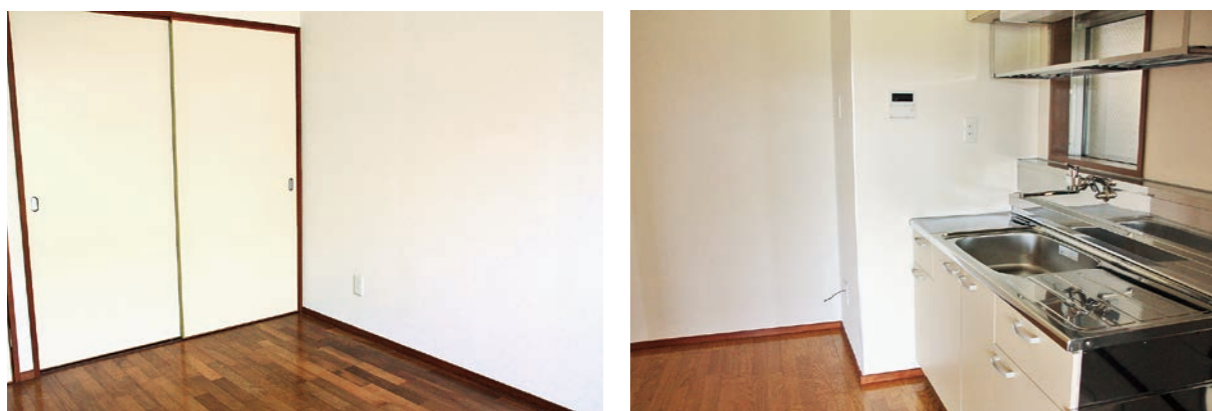
※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜公営住宅の状況は＞

Q 公営住宅の空室と待機者の状況は。また、募集や空室状況の周知の方法は。

A 比較的埋まっている状況ですが、供用開始から間もない新田団地については空室があります。ホームページにおいて定期的に空室状況を更新していますが、今後は広報紙やSNSの活用も視野に入れたい考えです。



改修され供用が始まった新田団地の室内

【総務課】

＜後世へ残せる基金運用を＞

Q 地方自治体が財源に余裕がある年度に積み立てておき、財源の変動に備えることができる財政調整基金について、後世に残せるよう、また富岡町を担う事業などに的確な使用ができるよう精査し運用を。

A 今後の財政状況を見据えながら、計画的な使用と積み立てができるよう運用します。

【総務課】

＜帰還希望者に寄り添った計画の策定を＞

Q 小良ヶ浜・深谷地区の再生計画を国に提出して除染範囲を決めると思われるが、現在除染対象になっていない世帯についても対象となるよう計画策定を。

A 新しい制度(特定帰還居住区域制度)に基づき、帰還する町民が安心して生活できるよう、帰還を希望しない町民からも除染の同意はいただくことも含め、集落全体をなるべく面的に考え、国との協議にあたる考えです。



【企画課】

＜交付金の用途は＞

Q 9月補正予算における福島再生加速化交付金や福島避難解除等区域生活環境整備事業委託金の用途は。

A 福島再生加速化交付金については、野菜集出荷施設の外構工事及び第二産業団地整備の測量調査業務に。福島避難解除等区域生活環境整備事業委託金については、夜の森つつみ公園の遊歩道の機能回復事業に、それぞれ充当となります。



現在建設中の野菜集出荷施設

【企画課】

＜移住・定住に向けた方策について＞

Q お試し住宅や、移住・定住に関する問い合わせに対する対応は。

A お試し住宅を利用された方へは毎回アンケートにお答えいただいておりますが、今後の移住に関する前向きな声も寄せられていますが、その後の経過確認までは至っていないのが現状であることから、町としても委託先と協議し、その後の経過確認等を実施して移住・定住につなげたいと考えます。



移住相談窓口「とみおか暮らし情報館」とお試し住宅

【企画課】

＜学力向上のための充実を＞

Q 児童・生徒の学力向上のための対策は。

A 学校再開から、まずは富岡町に慣れることに重点を置いていました。富岡小中学校は少人数学級の特性を活かした授業の実践を通して児童・生徒のやる気を引き出しており、中学生は学力向上のため放課後の学習会や夏休み中の学習会、個別指導、受験対策指導などを行っています。

【教育総務課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 産業振興課
- 都市整備課
- 農業委員会
- 生活環境課
- いわき支所
- 郡山支所
- 福祉課
- 健康づくり課



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜ 災害パトロールについて ＞

Q 台風など暴風雨の後の、桜に限らず枝が折れていたり倒木や倒木の危険がある箇所は大きな事故につながる可能性がある。道路パトロールをする際は、しっかりとチェックしてもらいたい。

A 暴風雨の後のパトロールについてはこれまでも必ず現地の確認を行っているところですが、今後も徹底して実行します。



【都市整備課】

＜ 町内の安全確保のために ＞

Q 道路維持管理事業では除草や修繕がかなり進んでいるようだが、交差点やカーブミラーの場所等で見通しが悪いような所はピンポイントで除草など行っているのか。

A 都市整備課でパトロールを実施し対応していますが、近隣からの指摘や、町内パトロールを行う方から情報提供をいただいた際はそのつど対応しています。

【都市整備課】

＜ 来庁者の安全を確認 ＞

Q 郡山支所の駐車場について、交通トラブルや苦情等はないか。

A 駐車場に入りづらい等の声がありますが、職員が来庁者の見守りや、高齢者に対して外に出て案内する等しています。なお、少し離れますが横断歩道と信号機があるので、来庁の際はそちらを利用していただくようお願いします。



駐車場から道路を渡る必要があるため、横断歩道をご利用ください

【郡山支所】

＜ 引き続き不安払しょくの方策を ＞

Q 母子健康事業は妊娠時から手厚く行われているが、その際に放射線被害に対して妊産婦の皆さんから不安の声等あるか。不安払しょくのための事業は必要であると考えているので、引き続き行ってもらいたい。

A 帰町した当初は水道水や野菜に関してのご質問がありました。現在は最初の訪問の際に不安なこと等がないか伺っており、放射線被害に関して不安の声はありませんが、各種リスク活動等で不安軽減対策を継続して行う考えです。



【健康づくり課】

＜ 町民のニーズに沿った事業の継続を望む ＞

Q 町内での衣料品出張販売について、利用者から良かったという声を聞いた。今後は。

A 時期や事業者の状況を見ながら、今後ともご協力いただきたいと思います。



さくらモールにおいて出張販売が行われ、お客さんで賑わいました

【産業振興課】

＜ 観光案内所との調整を ＞

Q 富岡駅に開設されている観光案内所の営業日を増やすよう調整してもらいたい。

A 桜まつりなど町内でイベントがある際は曜日に関係なく営業していますが、土日祝日の全てで営業するのは難しい状況です。職員の状況など含め、徐々に調整していきたいと考えています。

【産業振興課】

ALPS処理水の処分について、国際原子力機関からの包括的報告書や原子力規制委員会による設備の使用前検査、風評影響への対策など、かねてより国に対して説明を求めてきたところです。

令和5年7月10日開催の全員協議会において、内閣府廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所より説明を受けました。

● 情報発信

- ・WEBサイトの新設
- ・全国の地上波放送局等においてテレビCMを放送
- ・YouTubeにおいて動画広告、Yahoo! JAPANトップページにバナー広告掲載
- ・多く質問が寄せられる事項について、WEBサイトに掲載しつつSNS等でシェアしやすいコンテンツを作成し、経済産業省のX(旧ツイッター)アカウントにおいても発信する 等



動画コンテンツも公開されています(経済産業省サイト)

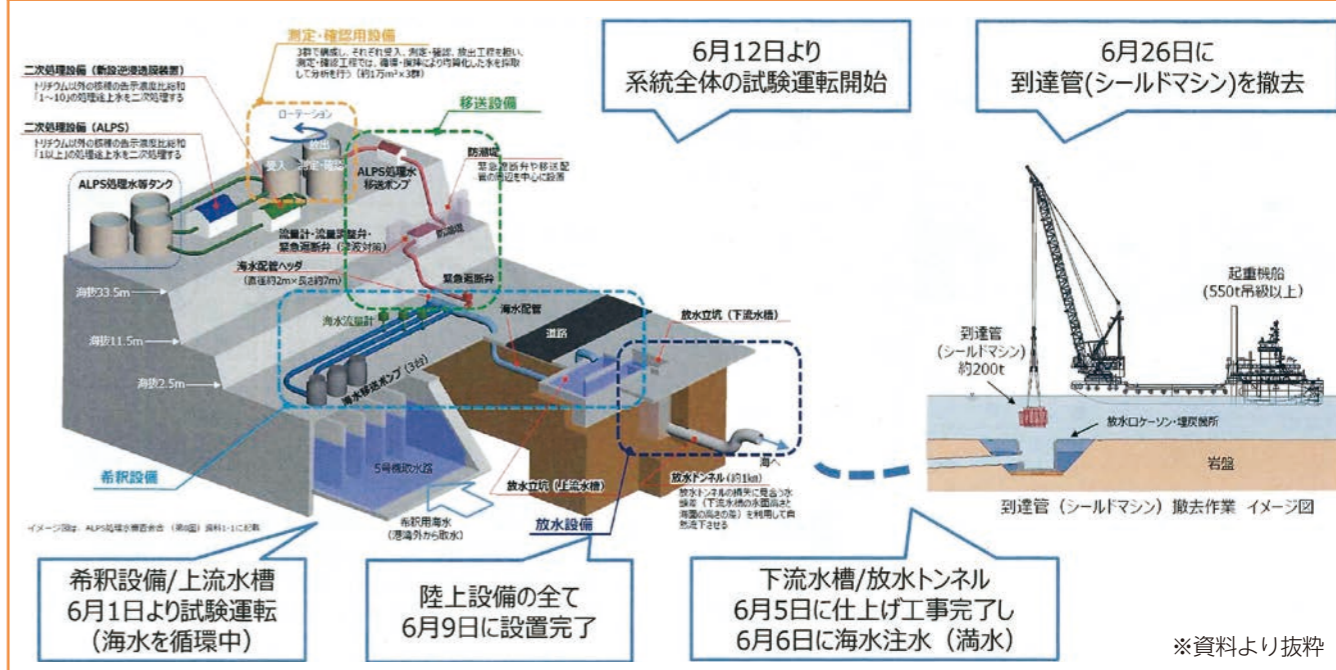
● 流通、風評対策

流通・消費対策	海洋放出に伴う需要対策	風評被害に対する賠償
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の小売業者と連携した三陸常磐水産品を扱うキャンペーン等を実施 ・“三陸・常磐もの”の積極的な購入を支援 ・風評対策、流通対策連絡会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物の販路拡大等の取組への支援 ・水産物の一時的買い取り、保管への支援 ・福島第一原発のALPS処理水に関する広報事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・国が前面に立ち意見聴取等を実施してきた ↓ ↓ ・引き続き関係団体等からの意見を伺いながら調整 ・風評被害の推認方法や損害額の算定方法を具体化

● 国際関係

- ・IAEAによる処理水の安全性レビュー包括報告書の公表
 - ①ALPS処理水の安全性 ②規制プロセスの妥当性 ③独立したサンプリング・裏付け分析
- ・韓国専門家による福島第一原子力発電所の現地視察
- ・太平洋島嶼国、地域とのコミュニケーションによる会談 等

● 設備の進捗状況



● 海域および水産物のモニタリング

- ポイント① 放水口から10kmの範囲内を多めに測定
- ポイント② 20km以上離れた海域や宮城県沖南部、茨城県沖北部でも測定
- ポイント③ 北海道から千葉県の太平洋側で年間200検体のトリチウム測定による水産物モニタリングを実施



モニタリング結果はこちらから確認ができます(環境省サイト)

問 放出を了解されていないのに、先に設備を整備し許認可を受けるのは順番が違うのでは。(渡辺三男)

答 内閣府 スケジュールありきではなく、関係者の理解なしにはいかなる処分も行わないという約束は遵守します。また、放出の許認可ではなく設備の使用を原子力規制委員会から認められたものです。

問 処理水を放出することにより交流人口や町への帰還者が減ってしまうなど、間接的で見えにくい風評も考えられるが、解消のための方策は。(宇佐神幸一)

答 内閣府 個別に相談をいただきながら、基本は丁寧に話を聞いていき、しっかりと評価しながらやっていく考えです。

問 処理水の放出までのプロセスは決まっているのか。また、国の立会いは最初だけではなく定期的に、抜き打ちでも行うなどで安心材料となるが、検討してもらえるか。(堀本典明)

答 内閣府 現在(7月10日時点)、今後のプロセスは決まっていますが、しっかりと計画的にできるように考えていきます。また、立ち会いの頻度や期間、抜き打ちの有無も含めて様々な方法で行っていきます。

問 施設の安全性について、不測の事態への対処法は。(遠藤一善)

答 内閣府 自然災害に対して対応できる設備的な対処の例として、放水設備に設けている緊急遮断弁を大地震や巨大津波の際は迅速に閉じるという対応があります。しっかりと対応できる想定をすることも必要と考えます。

問 処理水に含まれる原子力発電所の事故由来の核種について、数値を出すだけで安全だと言っているのではなく、内容の説明をすべき。(安藤止純)

答 内閣府 それぞれの科学的な特性を全て加味した上での被ばく評価となっています。説明不足との指摘について、今後はそのようなところも配慮しながら説明ができるようにしていきたいと思えます。

問 人体への影響が少ないと言っているが、いまいましい表現では理解の醸成につながらないのでは。安全か安全でないかはっきりと明言できないか。(佐藤敦広)

答 内閣府 政府としては、事実に基づき影響はゼロではないが極めて低いというような表現になります。



9月7日開催

<地元住民に寄り添った計画と対応を!>

8月9日開催

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について

(環境省)

問 遮蔽土を保管しているフレコンの経年劣化への対策と今後管理は。(佐藤啓憲)

答 環境省
令和5年度の工事で、汚染されていらない遮蔽土が入っている袋を破袋し、盛土して保管していく予定です。



墓地の線量を下げる工夫が必要

問 松の前及び小良ヶ浜の共同墓地のフォロアアップ除染を実施するとあるが、どのような手法で行うのか。(遠藤一善)

答 環境省
周辺の森林から線量の影響があることを踏まえ、森林の機能を弱めないよう周辺部の表土剥ぎ取りを行い、墓地部分も含めて線量を下げていきたい考えです。

問 線量の数値目標を明確に設定しないとのことだが、町や住民の皆さんからの線量の不安に対してフォロアアップを確実に実施してほしい。(佐藤教宏)

答 環境省
現時点でだいぶ着手も進んでおり、想定外の工程通り進んでいる状況です。9月末までには県道拡幅との調整が必要な部分を除き、着手可能な範囲は概ね完了させたい考えです。また、線量を下げることが第一と考えますので、しっかり除染を進めます。

◆帰還困難区域の再生に向けた取組について

(企画課・生活環境課・内閣府 他)

問 線量の高い部分を確認し、より下がる方法を選びながら、今後も除染を着実に進めていきます。(渡辺三男)

答 高野副町長
町は、安心して住める線量を目指す姿勢に変わりなく、妥協なく国と協議していきます。

問 線拠点と点拠点の除染について、解除の基準となる線量を妥協することなく協議してもらいたい。(渡辺三男)

答 内閣府
現時点では全域除染をするとのお答えはできません。まずは政府方針に基づき、帰還意向がある住民の方々の帰還の取組を進めつつ、将来的には帰還困難区域の全てを解除していくとの決意のもと、引き続き個別の課題やご意見を丁寧に向いながら解除に向けた取組を進めていきます。

問 小良ヶ浜地区・深谷地区に希望者が早期帰還した後、国は除染が残った区域を解除する考えはあるか。(佐藤教宏)

答 内閣府
住民の方からバリエーションが不便であるというお声や自由な立ち入りをご希望されるお声があることは承知しており、実情に応じ柔軟な対応ができるよう現在検討中です。町ともご

帰還困難区域である小良ヶ浜地区及び深谷地区にて2回目となる道路・公共施設等における除染状況の現地確認を行いました。(9月7日)



4箇所の現地確認を行い、環境省から説明を受けました

◆除染解体工事及び仮置場原状回復の状況について

(環境省)

問 小良ヶ浜共同墓地へ繋がる道路の線量が高い。今後の除染方法は。(遠藤一善)

答 環境省
例えば道路のクラック部分や周辺を切り、線量が高い部分を除去することや洗浄等、それぞれの道路の状況を見ながら線量が下がる方法で実施する考えです。



町内の道路のクラック ※現在は補修が完了

問 線量の不安に対し、個々の案件ごとに我々がこれまで積み上げてきた除染の経験や知見も踏まえ、除染でどのようなことが可能かひとつひとつ町とも相談しながら対応していきます。

答 環境省
線量の不安に対し、個々の案件ごとに我々がこれまで積み上げてきた除染の経験や知見も踏まえ、除染でどのようなことが可能かひとつひとつ町とも相談しながら対応していきます。

問 点・線拠点の外縁除染が9月末で完了予定だが、見直しは。また、期間ありきになり線量が下がらなかったというようなことがないよう要望する。(堀本典明)

答 環境省
現時点でだいぶ着手も進んでおり、想定外の工程通り進んでいる状況です。9月末までには県道拡幅との調整が必要な部分を除き、着手可能な範囲は概ね完了させたい考えです。また、線量を下げることが第一と考えますので、しっかり除染を進めます。

◆帰還困難区域の再生に向けた取組について

(企画課・住民課 他)

問 点・線拠点の除染が完了し、道路のみ解除となった際、解除とならない宅地部分の土地を資材置き場等で使用することが可能とのことだが、使用のための基準は。また、許認可の判断はどの機関か。(渡辺三男)

答 内閣府
事業活動が復興に寄与するかが判断基準となります。事業者の意向に沿いつつ、町と内閣府が調整し、判断していきます。

問 除染後の宅地の草刈りなど管理のための立ち入りに関して、民家へのバリエード設置や入域時間等の配慮は。(遠藤一善)

答 内閣府
住民の方からバリエーションが不便であるというお声や自由な立ち入りをご希望されるお声があることは承知しており、実情に応じ柔軟な対応ができるよう現在検討中です。町ともご

問 相談し決まったらご報告します。

答 竹原副町長
バリエードの種類等については意見交換会での意見を基に最終的に国へ要望していきます。また、バリエードを設置することにより防火防犯にも繋がりたい考えです。



草が繁茂してしまう除染後の空き地

問 地域の皆さんからも草刈りの実施が非常に難しいという意見を受けています。東京電力に協力いただいているような外の方をお借りすることも含め、地域の草の問題について考えていきたいと思

廃炉等に向けた現状について

【多様な設備の検討を】



遠藤一善議員

電源喪失の際も燃料デブリの冷却が継続できるよう、機械に頼らない冷却方法を検討すべきでは。例えば高低差を利用し注水する方法は可能か。

既存タンクで陸上からの移送が難しくなった場合のバックアップとして、機動的対応として消防車や高圧注水車の準備があります。高低差の利用では、原子炉建屋の5階より高い場所もしくは建屋5階に設備設置となり、デブリ取り出しなどの廃炉作業や、位置的なことを考えると難しいと思いますが、アイデアも踏まえつつ検討していきます。



東京電力HD(株)

【詳細な情報発信が必要と考える】



東京電力HD(株)

現在屋外で保管している廃炉作業で発生した固体廃棄物の保管方法や、2028年度までに保管庫を設置し屋内設置するための搬入方法など、事前に詳細を発信すべきでは。

表面線量に応じた分別に加え、線量が高いものはコンテナや保管庫に保管することでリスク低減に努めています。また、2028年度までの屋内保管への移行に向け、廃棄物関連設備の設置を進めているので、その状況を丁寧に発信していきます。



高橋実議長

【町民に寄り添った対応を要望】



安藤正純議員

格納容器に新たに亀裂が入るなどして冷却水が流れてしまい、冷却ができなくなるような想定はされているか。

燃料デブリの冷却の際は水を溜めるのではなく水をかけ流すことで冷却が可能です。燃料デブリが発する崩壊熱は時間と共に低下してきており、必要な水量を計算した上で注水していきます。格納容器に新たな亀裂が発生しても燃料デブリの状態が変わらず、必要な水量が注入できれば冷却は継続できると考えています。

第五次追補の受付オペレーターや審査する職員への教育の徹底と、申請する際に町民の負担を軽減するための取り組みをすると共に、受付は迅速に行ってもらおうよう要望する。

現在、1ヶ月から3ヶ月程度の研修をし、理解度の確認をしながらそれぞれの業務に入るようになります。質を高めることが今後のご賠償の加速につながると思っており、原子力教育含め鋭意行っています。申請の負担軽減等、寄り添った形で何ができるかは今後しっかり検討を深めていきます。



東京電力HD(株)

《ALPS処理水の海洋放出開始》 東京電力の対応について徹底議論!!

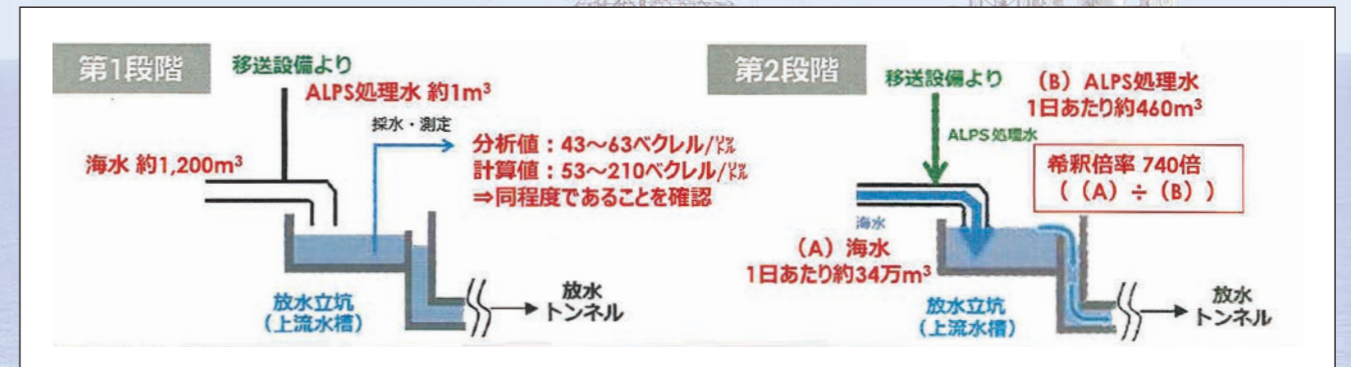


問 放水立坑のトリチウム濃度測定の際に分析値と計算値を出すところがあるが、一段階にする理由は。(安藤正純)

答 東京電力
トリチウムの分析には最低でも24時間程度かかることからリアルタイムでの確認ができず、放出する水と希釈する海水でどのくらいの濃度になるかの計算が必要となります。その計算値が分析値の濃度と合致しているか確認するために比較しているものです。

問 風評被害の賠償について、直接的なものばかりではなく間接的な被害もある。申請できる業種か判断することが難しいという声もあるので、範囲を明確にしたい。(宇佐神幸)

答 東京電力
申請を迷うという声があることは認識しています。同じ業種や生業でも様々な形態がありますので、周知の方法は更に検討します。まずはしっかりとご事情を伺っていくというスタンスで、類型化し効率的に進めることも視野に入れた丁寧な対応をする考えです。



東京電力提出の資料より抜粋

問 豪雨災害が相次いでいる。被害を受けることも想定し、放水設備に限らず運転員の判断で放出を停止できるようにしてもらいたい。(遠藤一善)

答 東京電力
放水設備については自然現象等により運転員の判断による放出停止の基準を定めています。その他の発電所内についても自然現象等に伴う損傷等を想定・検討します。運転員だけではなく、発電所幹部も含めて常に問いかけ対応できるよう準備していきます。

問 海域モニタリングにおいてトリチウムの濃度が一時的に若干高くなる箇所があるが、理由は分析されているか。(渡辺三男)

答 東京電力
シミュレーションによると当該地点は南北の潮流の流れがあり、その流れが3日から4日おきに方向が変わる状況です。その際に停滞するタイミングがあるため、ごく低い濃度で検出されることがあります。しかしながら、前後の測定では検出限界値未満であることから、潮の流れが変わることですっきり拡散しているという状況が見られます。

処理水ポータルサイトには、東京電力の他、環境省、水産庁、福島県で測定した分析結果のリンクも掲載されているっぴ♪

処理水タンク群(写真提供：東京電力HD(株))

復興へのあゆみ Step.30

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2023. 8. 2

富岡駅前 にぎわいフェス

会社帰りの方やご家族連れの方等、富岡駅前ひろばで楽しいひとときを過ごしました。



2023. 9. 15

令和5年度富岡町敬老会

4年ぶりに開催された敬老会では、久しぶりの再会を喜ぶ声で賑わいました。



2023. 9. 30

にこにこども園 運動会

こども園の園児による運動会が開催され、元気いっぱい走り、お友達を応援する姿に元気をもらいました。



～学校訪問レポート～

にこにこども園
富岡小中学校



令和5年7月14日に、総務文教常任委員会において学校訪問を実施しました。

○にこにこども園

園児数 0歳～5歳児
65名(R5.7.14時点)
一時保育利用者数
25名(R5.4月～6月)
子育て支援センター利用者数
118組(R5.4月～6月)



保育状況や施設内の見学をし、説明を受けました

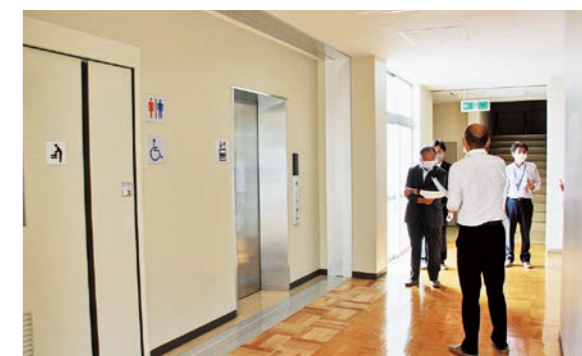


○富岡小中学校

児童・生徒数
小学校 46名・中学校 21名
(令和5年5月1日時点)

○放課後児童クラブ施設整備

場所：旧富岡幼稚園跡地
工期：R6.3.15



昨年度の工事実施箇所を中心に説明を受けました



議員が切り込む!! 質疑応答



問 スクールバスの運行状況は。(高野匠美)

答 学校長
5コースをバス2台とワゴン車3台で運行しています。また、子どもたちと定期的なバスでの状況の話し合いを行い、課題があればそのつど対応しています。

問 近隣に塾がないため中学校2年生や3年生の受験に対する不安があるかと思うが、対策は。(高橋美)

答 学校長
夏休み期間中に中学3年生を対象に勉強会を計画しています。また、部活動の引退後は放課後の学習会なども随時企画するなど、可能な限り学習を保障していく考えです。

問 教育環境充実のための方策は。また、学習支援アプリなどの導入は。(佐藤教宏)

答 学校長
ひとり一台のタブレットを常備しており、必要に応じて持ち出せる環境にあります。また、学習アプリは授業でも活用しています。



ちよとと

みなさまの声

Q.富岡町に居住した感想や、現在取り組んでおられることなどをお聞かせください。

A. 富岡町ではまだ2ヶ月しか経過していませんが、海に近い環境で癒しを感じています。最近、町役場の職員と共に富岡小中学校の体育館でバスケットを楽しんでおり、健康のために愉快地運動しています。現在、新しい産業の拠点である「とみおかワーキングベース(TWB)」の管理者として働いています。TWBは企業、スタートアップ、大学などが連携して地域の課題をオープンイノベーションを通じて解決するプログラムを実施しています。

Q.令和5年9月11日にオープンした富岡町サテライトオフィス「とみおかワーキングベース(TWB)」の職務について今後の展望をお聞かせください。

A. 今までの経験を活かして地域社会に貢献したいと考えています。TWBを通じて、富岡町の復興と発展に寄与するプロジェクトを支援し、持続可能な未来を築くお手伝いをさせていただきます。そのため、異なるバックグラウンドを持つ人々を繋げ、共通の目標に向けた協力を促進したいと思っています。

Q.富岡町民の皆さんへメッセージをお願いします。

A. 私の地元のハイチも大震災の経験があるので、皆さまの気持ちをよく理解できると思います。明るい将来をつくるために、ひとつひとつの行動は大切です。富岡町について、まだ色々分かりませんが、町の人々と話し合いをしたりして、心の復興も身体の復興からも新しいアイデアが生まれると思います。ぜひTWBに立ち寄ってください。元気をお待ちしています！



富岡サテライトオフィス
「とみおかワーキングベース」管理運営
Pachoute Max Arly
(パシュート マックス アリー)さん

【経歴】

- 出身地：ハイチ生まれ/カナダ育ち
- モントリオール大学 モントリオール校 卒業
- モントリオールにおいて、機械オペレーターやテクニカルサポートをはじめ保証アナリスト、ファイナンシャルアドバイザーなどを歴任
- 福島県福島市教育委員会(外国語指導助手)
- 富岡町サテライトオフィス「とみおかワーキングベース」(管理運営)

議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、13日(水)～15日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



発行責任者
議長 高橋 実

議会広報特別委員会
委員長 高野匠美
副委員長 佐藤啓憲
委員 佐藤教宏
委員 堀本典明

新型コロナウイルスが5類感染症となったこともあり、敬老会が4年ぶりに開催されました。各地からたくさんの方が集まりましたが、皆さんの笑顔があふれていたのが印象的でした。たくさんの方の顔なじみとの交流や、みんなで食べる昼食、歌謡ショーと、楽しい時間を過ごせたのではないのでしょうか。

「生きがい」とは、一般的に「生きるはりあい」とか「幸せを感じるもの」などと考えられていますが、曖昧な定義ではありませんが、年齢関係なく、町民の皆さんが「生きがい」を感じられる事業展開をしていかなければならないと強く感じました。

なお、議会広報委員会では、皆様に楽しみにしていただける議会報を目指し作成しております。ご意見ご要望等ありましたら是非お寄せください。

(佐藤 教宏)

編集後記

FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

